

青少年「平和と交流」支援事業（HIROSHIMA and PEACE） 報告会の実施について

参加者名 _____ : 柳岡 恵理子
 派遣元加盟都市（国）: 上越市

行事名	「HIROSHIMA and PEACE」 報告会
実施日	2017年11月17日
実施場所	上越教育大学
対象者 <small>(属性・年齢等)</small>	大学生(21~22歳)・大学院生(22~39歳)
参加者数	11名
報告会の概要等	<p><報告会の日程></p> <p>1 「HIROSHIMA and PEACE」参加報告をパワーポイントを使って発表 15分 2 質疑応答 5分 3 グループごとに意見交換 5分 4 全体での意見発表および質疑応答 20分</p> <p><参加者からの感想></p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからは被爆体験は被爆者本人ではなく、それを聞いた人が伝えていく時代が来るが、直接体験していないからこそ、客観的に事実を伝えられるというアドバンテージもある。被爆者ご本人だと、思い出したくないことや言いたくないという気持ちが働くのではないか。 ・日本人であっても、被爆国だという当事者意識には温度差がある。広島を多くの外国人の方が訪れているので、日本人として、広島を訪れるべきである。 ・戦争中、在日韓国人の方への差別があったことは知らなかった。 ・平和への意識は、人との接し方、思いやりを持つことなど、小さいことから根付かせていく必要がある。 ・戦争を風化させないためにも、定期的に平和や戦争の惨状などを教えていくべきである。
その他 { 参考となる URL 等を記載のこ と。 }	

※写真は別ファイルで添付してください。

